

令和6年度 西区組織目標

組織名	西区	区長	水野 利数
組織の目的・方向性	区ビジョンの将来像「快適なくらしと、豊かな自然や食が調和する、住み心地のよいまち」の実現のため、「人と人がつながり、支え合うやさしいまち」、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「豊かな自然と食を楽しむまち」、「区民が主役の活力あるまち」を目指したまちづくりをすすめていきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思える保護者の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・道路が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ・地域活動に参加した経験のある市民の割合 ・新潟市の農水産物などに対してほこりや愛着を持つ市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

西区組織目標

<p>区の将来像の実現のため、能登半島地震からのいち早い復興を進めるとともに、豊かな自然環境や特産農産物、高度な学術機関など西区の特性を活かし、地域や大学との連携を通して、多様化する地域課題に未来を見据えて取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らし、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。</p> <p>この方針のもと、今年度は、以下の目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 震災被害からの復旧復興と被災者支援を進め、安心安全なまちづくりに努めます。 2 環境美化活動への支援や協力を推進し、自然環境の保全を図ります。 3 西区特産農産物の県内外へのPRに取り組み、生産振興と地域活性化を図ります。 4 地域活性化を推進するため、地域と大学の交流と連携を支援します。 5 子どもたちの健やかな育みを応援するやさしいまちを目指します。
--

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 震災被害からの復旧復興に関しては、被災した道路や排水路の早期復旧に取り組み、年度末までの復旧工事の発注本数は道路17路線、排水路40路線、合計57路線になりました。</p> <p>また、被災者支援の取組みとして、震災の復旧・復興に向け、被災後に健やかな生活が送れるよう震災のストレスや心身の回復に関する講演会を坂井輪地域、黒埼地域で開催し、計80人が参加しました。災害後の心身の変化やストレス緩和のセルフケアを学び、被災者やそのご家族等の心身の回復の一助に</p>				

なりました。

安心安全なまちづくりに向けては、地域の被害想定や避難の必要性、避難所の位置などをあらためて認識していただくため、津波ハザードマップを再編集し、12月上中旬に区内全自治会へ配布しました。併せて、津波浸水想定に対する理解促進を図るため、1～3月に向け希望するコミ協を対象に説明会を実施するなど地域防災力の向上を図りました。

- 2 環境美化活動への支援では、自治会・町内会等の地域清掃活動の相談に丁寧に対応することで、多くの団体からボランティア清掃に参加していただきました。西区クリーン月間や海岸一斉清掃などにも、多くの区民の参加があり、自然環境の保全につながりました。
- 3 農産物の生産振興と地域活性化では、GI登録製品の「くろさき茶豆」や食と花の銘産品の「いもジェンヌ」をはじめとする西区特産農産物のさらなる認知度向上のため農商工連携による県内外へのPRを実施しました。
SNSや各種メディアを活用したPRは、ポストコロナにおいても定着していることから、有効なPR媒体として活用し、併せて対面での販売促進活動も再開しました。
- 4 地域と大学の交流と連携については、新潟大学への業務委託により、プログラミングを活用したLED制作のワークショップ開催及び制作物の展示事業、こども中心の地域づくりをテーマにした事業を実施しました。学生の学びの場を地域に広げ、地域住民との相互交流を深めることで、地域の活性化に繋がるよう、大学と地域の交流を支援しました。
- 5 児童虐待件数が増加する中、子どもたちの笑顔で健やかな育みを応援するやさしいまちを目指し、乳児期から学齢期（前期）までの各期にわたる子育て支援講座を実施しました。また、妊娠期から3歳未満の子育て中の方を対象としたLINE「にしっこはぐくみLINK」による子育て情報の発信に取り組みました。このLINKへの累積新規登録者は7,338人に達し、子育て中の親の孤独感や不安感の軽減、健全な子育ての応援に寄与しました。

- 1 道路や排水路の復旧については、今後も関係機関等との協議を進め、調整の整ったところから工事を発注し、早期の復旧に努めます。
また、被災者支援に関しては、震災の復旧・復興に向け、被災者やそのご家族等が孤立感を抱えず、健やかな生活が送れるよう、被災の体験を安心して語り合える場を提供し、自立や地域との交流を促します。
併せて、安心安全なまちづくりに向け、引き続きハザードマップなどによる被害想定のお知らせを図るなど、さまざまな機会を通じて防災意識の啓発に努めます。
- 2 区民の環境保全やきれいなまちづくりに対する意識の向上を図るため、コミュニティ協議会や自治会・町内会などの協力を得ながら、より多くの区民から西区クリーン月間などの活動に参加してもらえよう、引き続き取り組みを進めていきます。
- 3 農産物の生産振興と地域活性化では、「くろさき茶豆」をはじめとする西区特産農産物のPRと消費拡大に引き続き取り組むため、農商工連携協議会と連携したSNSによるキャンペーンや首都圏をはじめとする販売促進活動を実施します。
- 4 区民が主役の活力あるまちを推進するため、大学から事業提案を募集し、地域課題の解決や地域の活性化を図るなど、地域と大学の距離を近づける取組を推進するとともに、この取組を継続的に発信していくことにより、にぎわいと活力の創出に努めます。
- 5 子どもたちの笑顔で健やかな育みを応援するため、子どもの各年代に対応した子育て支援講座を関係機関と連携し、引き続き実施していきます。また、「にっこはぐくみLINK」を活用して積極的に情報発信をし、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりに取り組んでいきます。